ほほえみ

2021．1．4　発 行
一号　外

特定医療法人　録 三 会
美濃加茂市 太田町 2825
太 田 病 院　Tel　0574－26－1251
クリニック　Tel　0574－26－2220
中部台ケアセンターTel　0574－23－1155
更 紗　Tel　0574－23－1011
ディサービス 和　Tel　0574－24－0753

■理事長兼太田病院院長　佐々木　裕茂（外科・内科）

新年あけましておめでとうございます。
患者様・ご利用者様・ご家族様におかれましては、新年を穏やかに迎えられましたでしょうか。
昨年は、当法人の各医療・介護施設をご利用いただき、誠にありがとうございました。感謝しております。
昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行で、医療介護の現場でも今までに経験したことのない状況の連続で、患者様・ご利用者様には多くの御迷惑をおかけしました。誠に申し訳ありませんでした。
今年は、人手不足などの問題点を抱えたままで、通常の医療、介護の提供に加え、コロナ感染症対策の継続が重要になると予想されます。その中で、地域第一で、地域に根差した「患者様・御利用者様中心の医療・介護の提供」を心がけていきます。まだまだいろいろな面でご迷惑をおかけすると思いますが、ご不満などご意見がありましたら、どんどんお聞かせください。前向きに改善して行きます。
どうか今年も１年よろしくお願いいたします。

■太田メディカルクリニック院長　尾下　英史（整形外科）

新年あけましておめでとうございます。
昨年早春からの新型コロナウィルスの感染拡大は、多くの皆さんに感染不安による自粛を強いています。今しばらく、予防ワクチン投与、治療方法の確立には時間がかかりそうです。
昨年よく外来患者さんとの間で話に上がったのは、自粛による運動不足、筋力の低下です。下肢筋力の低下は膝関節痛の原因になるばかりか、歩行時の足上げが弱くなり転倒骨折の頻度も増加します。現在のところその予防法はお薬にあらず、規則正しい食事と運動習慣のみです。外出自粛を要請される一方で運動が必要と

はなんとも矛盾した話に思われますが、感染予防はあくまで三密（密閉、密集、密接）であり、屋外運動（散歩や自転車）は問題ありません。コロナに関しては、いろいろな情報が錯綜していますが、信用できるサイトからの情報に限定し、発信元の特定できないようなサイトからの情報をうのみにしないように気を付けましょう。
今年１年を頑張れば、先が見えてくるような気がします。気を抜かず何とか今年１年をみんなで頑張って乗り切りましょう。

■名誉院長　佐々木　英（内科・外科）

新年あけましておめでとうございます。
昨年はアメリカの大統領選、新型コロナウイルス、そしてインフルエンザと１年が早く過ぎ去っていったようです。
感染症ウイルスは恐ろしいものですね。おかげ様で何とか無難にと思っていましたが、11 月にタクシーを降りた時家の前で転倒して第 4 腰椎圧迫骨折、右肘関節挫創と１ヶ月程寿命を縮めました。とんだハプニングに皆様には大変ご迷惑をおかけしました。おかげ様で何とか回復し今年はこれを教訓に体調を整え元気でいたいと思っています。
皆々様の健康とお幸せを心から祈っています。

■名誉副院長　佐々木　晃（整形外科）

明けまして、お目出度う御座います。
昨年はコロナウイルス感染症発生により殆ど１年間自粛生活を送りました。
ただ私含めた高齢者から見ますと、戦中、戦後とくらべ食べ物に不自由なく過ごす事が出来、私は食生活に関しては満足感の方が多く感じられました。ただ加齢による全身筋力低下と衰えを感じながら健康で Ｐ・Ｐ・Ｋ（ピンピンコロリ）を願い、生活レベルを１段下げ、自分自身で意欲を持ち、今まで通りの生活をして行きたいと考えています。診療、ゴルフ、アルコール、可能な限り Let go です。
本年も宜しくお願いします。

■副院長　井藤　孝（内科）

新年明けましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルス感染症のため大変な 1 年でした。
新しい年は、ワクチン接種も進み平穏な 1 年になるように希望します。

■診療統括部長　佐々木　智浩（整形外科）

新年明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍のためほぼ 1 年我慢の年となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしたか。私は 49 歳となり昨年よりさらに肉体的衰えを自覚し、くわえて持病の腰痛にも悩まされる 1 年でした。以前より続けているテレビ体操は細々と継続しましたが、一昨年 10 月より始めたトレーニングジム通いはコロナの影響で中断することが多くなってしまいました。そこで今年はコロナ禍が落ち着き次第、気持ちと体にムチを打って再度自分自身の肉体改造に取り組んでいこうと思っています。私が診療させて頂いている整形外科の患者様も、同じような悩みを抱えていらっしゃる方が多いと思います。ということで本年も自分の現状を鑑みながら、皆様の苦痛を和らげるための肉体改造（関節や筋肉の硬さ、筋力の低下などを指摘し、再教育）の手助けをさせて頂ければと思っています。
本年も整形外科で関節リウマチを中心に、整形外科全般の治療を担当させて頂き、微力ながら地域の皆様に少しでも貢献できるように精進して参ります。本年も宜しくお願い致します。

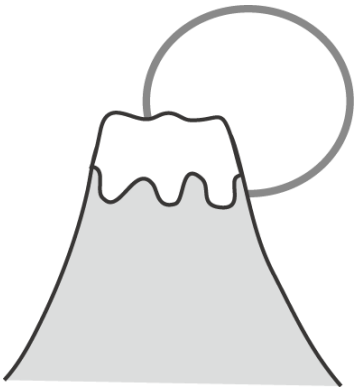
■内科部長　田中　浩行（内科）

あけましておめでとうございます。
2020 年は新型コロナウイルスの影響で、皆様も大変な 1 年を過ごされたと思います。早く落ち着いて元の生活に戻れると良いですね。
今年も皆様の健康のサポートをさせて頂きますので、宜しくお願い致します。
気になることがあれば、なんでもご相談ください。

■整形外科部長　渡邉　友純（整形外科）

明けましておめでとうございます。

昨年は、医療を含め社会全体でコロナに苦しめられた年でした。今年もどうなるか分からない状態ですが、ワクチンの効果に期待しています。その他にも自然災害が毎年のように甚大な被害をもたらしており、地球温暖化が原因と言われています。もしかしてコロナもその影響かも知れませんね。このような状況が今後もいろんな形で私達に降りかかってくると予想しています。それを乗り越えるには、打ち勝つ気力、体力が必要です。それを支えるのは、心、体の健康です。今年も皆さんの健康のために頑張っていきます。今年も宜しくお願いします。



■佐々木　恵美子（皮膚科・メディカルスキンケア）

あけましておめでとうございます。

2020 年はコロナ感染で本当にあっという間に時間、月日が過ぎてしまいました。2021 年はおだやかに皆様が少しでも過ごすことができる様に微力ながらお手伝いできる様に努力していきます。

今年もよろしくお願いいたします。

あとがき

今年の干支は「丑」です！丑年は「我慢（耐える）」、「発展する前触れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、地道に突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいですね 。

次回の発行は１月２５日の予定です。　　経営企画室